

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月14日
【四半期会計期間】	第69期第1四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）
【会社名】	株式会社 銀座山形屋
【英訳名】	GINZA YAMAGATAYA CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 山形 政弘
【本店の所在の場所】	東京都中央区築地三丁目5番4号
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	東京都練馬区関町北二丁目3番20号(管理部)
【電話番号】	03(6680)8711(代表)
【事務連絡者氏名】	管理部長 渡辺 光潤
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

第57期（平成13年3月31日）から退職給付に係る会計基準（「退職給付に係る会計基準の設定に関する意見書」（企業会計審議会 平成10年6月16日）を適用し、会計基準変更時差異（218,821千円）を一括費用処理しておりましたが、一部従業員（定年退職者等）の退職給付引当金の計上に関して、会社都合要支給額に基づく退職給付引当金を計上すべきところを、自己都合要支給額に基づき退職給付引当金を計上していたことにより、退職給付引当金の計上不足の状態になっていました。

その不足額につき過年度訂正報告が必要との判断に至り、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、当社として今回の訂正を行うことといたしました。

なお、本件発生原因は、経理部門・人事部門と社外専門家とのコミュニケーション不足並びに基礎資料のチェック不足等が主たる要因と考えます。今後は関係者間のコミュニケーションの充実、基礎資料の妥当性・算出プロセスのダブルチェック等の励行を強化し再発防止に努めます。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表につきましては、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所については、XBRLの修正も行いましたので併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

1 事業等のリスク

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

四半期連結包括利益計算書

注記事項

(株主資本等関係)

(セグメント情報)

(1株当たり情報)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第68期 第1四半期連結 累計期間	第69期 第1四半期連結 累計期間	第68期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高(千円)	1,061,336	1,129,390	4,225,306
経常利益又は経常損失()(千円)	7,065	49,987	91,528
四半期純利益又は当期純損失()(千円)	5,064	44,787	224,882
四半期包括利益又は包括利益(千円)	24,750	114,325	10,278
純資産額(千円)	2,621,294	2,750,033	2,635,707
総資産額(千円)	3,978,851	4,320,483	4,200,814
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり当期純損失金額()(円)	0.29	2.59	13.02
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	65.9	63.7	62.7

~注略~

(訂正後)

回次	第68期 第1四半期連結 累計期間	第69期 第1四半期連結 累計期間	第68期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高(千円)	1,061,336	1,129,390	4,225,306
経常利益又は経常損失()(千円)	297	57,012	101,767
四半期純利益又は四半期(当期)純損失()(千円)	1,704	51,812	235,121
四半期包括利益又は包括利益(千円)	31,518	121,350	20,517
純資産額(千円)	2,505,850	2,638,143	2,516,792
総資産額(千円)	3,978,851	4,320,483	4,200,814
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期(当期)純損失金額()(円)	0.10	3.00	13.62
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	63.0	61.1	59.9

~注略~

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

(訂正前)

(1) 当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

(2) 継続企業の前提に関する重要な事象等

当社グループは、前連結会計年度(68期)において営業損失2億2千6百万円、当期純損失2億2千4百万円となり4期連続の営業損失の発生および営業キャッシュ・フローのマイナスを計上しており、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。しかしながら、3「財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」(4)に記載のとおり、当該事象又は状況を改善・解消するための対応策を講じることにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

(訂正後)

1【事業等のリスク】

(1) 当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

(2) 継続企業の前提に関する重要な事象等

当社グループは、前連結会計年度(68期)において営業損失2億3千7百万円、当期純損失2億3千5百万円となり4期連続の営業損失の発生および営業キャッシュ・フローのマイナスを計上しており、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。しかしながら、3「財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」(4)に記載のとおり、当該事象又は状況を改善・解消するための対応策を講じることにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(訂正前)

(1)業績の状況

～前略～

このような環境の下で当社グループは前期に引き続きオーダーメイドを柱に経営資源の集約化をするとともにブランド力の強化に取り組んでまいりました。経営成績につきましては、売上高は卸売事業及び受託縫製事業の受注が比較的順調に推移したことから11億2千9百万円（前年同四半期比6.4%増）となりました。利益面については売上高の増加に伴う売上総利益の増加等により、営業利益1千6百万円（前年同四半期は3千万円の営業損失）となりました。また、主に受取配当金2千8百万円があったこと等により経常利益は4千9百万円（前年同四半期比607.5%増）となりました。四半期純利益については法人税等5百万円の計上により四半期純利益4千4百万円（前年同四半期比784.4%増）となりなりました。

セグメント別では、小売事業が売上高5億5千5百万円（前年同四半期比1.1%増）、営業利益1百万円（前年同四半期は8百万円の営業損失）、卸売事業が売上高3億8千5百万円（前年同四半期比11.5%増）、営業損失1千8百万円（前年同四半期は3千万円の営業損失）、受託縫製事業が売上高1億8千万円（前年同四半期比14.2%増）、営業利益2千3百万円（前年同四半期は7百万円の営業損失）となりました。

～後略～

(訂正後)

(1)業績の状況

～前略～

このような環境の下で当社グループは前期に引き続きオーダーメイドを柱に経営資源の集約化をするとともにブランド力の強化に取り組んでまいりました。経営成績につきましては、売上高は卸売事業及び受託縫製事業の受注が比較的順調に推移したことから11億2千9百万円（前年同四半期比6.4%増）となりました。利益面については売上高の増加に伴う売上総利益の増加等により、営業利益2千3百万円（前年同四半期は3千7百万円の営業損失）となりました。また、主に受取配当金2千8百万円があったこと等により経常利益は5千7百万円（前年同四半期比5千6百万円増）となりました。四半期純利益については法人税等5百万円の計上により四半期純利益5千1百万円（前年同四半期は1百万円の四半期純損失）となりなりました。

セグメント別では、小売事業が売上高5億5千5百万円（前年同四半期比1.1%増）、営業利益5百万円（前年同四半期は1千1百万円の営業損失）、卸売事業が売上高3億8千5百万円（前年同四半期比11.5%増）、営業損失1千8百万円（前年同四半期は3千3百万円の営業損失）、受託縫製事業が売上高1億8千万円（前年同四半期比14.2%増）、営業利益2千3百万円（前年同四半期は5百万円の営業損失）となりました。

～後略～

第4【経理の状況】

(訂正前)

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成22年7月1日から平成22年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

(訂正後)

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成22年7月1日から平成22年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出していますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受け、四半期レビュー報告書を受領しています。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	620,848	720,892
受取手形及び売掛金	519,196	475,729
商品及び製品	155,357	162,982
仕掛品	18,937	13,325
原材料	127,728	130,514
その他	57,629	69,295
貸倒引当金	1,451	1,694
流動資産合計	1,498,246	1,571,046
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	114,845	111,495
その他(純額)	276,649	275,483
有形固定資産合計	391,495	386,978
無形固定資産		
その他	5,910	5,693
無形固定資産合計	5,910	5,693
投資その他の資産		
投資有価証券	1,282,523	1,354,821
敷金及び保証金	801,769	797,876
その他	297,725	280,693
貸倒引当金	76,856	76,626
投資その他の資産合計	2,305,162	2,356,765
固定資産合計	2,702,568	2,749,437
資産合計	4,200,814	4,320,483
負債の部		
流動負債		
買掛金	247,465	270,390
未払法人税等	16,689	7,343
ポイント引当金	30,073	28,570
その他	410,524	410,212
流動負債合計	704,752	716,517
固定負債		
退職給付引当金	495,833	488,670
役員退職慰労引当金	85,006	85,924
資産除去債務	198,368	198,408
その他	81,146	80,929
固定負債合計	860,354	853,933
負債合計	1,565,107	1,570,450

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,727,560	2,727,560
資本剰余金	242,303	242,303
利益剰余金	360,900	316,113
自己株式	79,284	79,284
株主資本合計	2,529,679	2,574,465
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106,028	175,567
その他の包括利益累計額合計	106,028	175,567
純資産合計	2,635,707	2,750,033
負債純資産合計	4,200,814	4,320,483

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	620,848	720,892
受取手形及び売掛金	519,196	475,729
商品及び製品	155,357	162,982
仕掛品	18,937	13,325
原材料	127,728	130,514
その他	57,629	69,295
貸倒引当金	1,451	1,694
流動資産合計	1,498,246	1,571,046
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	114,845	111,495
その他(純額)	276,649	275,483
有形固定資産合計	391,495	386,978
無形固定資産		
その他	5,910	5,693
無形固定資産合計	5,910	5,693
投資その他の資産		
投資有価証券	1,282,523	1,354,821
敷金及び保証金	801,769	797,876
その他	297,725	280,693
貸倒引当金	76,856	76,626
投資その他の資産合計	2,305,162	2,356,765
固定資産合計	2,702,568	2,749,437
資産合計	4,200,814	4,320,483
負債の部		
流動負債		
買掛金	247,465	270,390
未払法人税等	16,689	7,343
ポイント引当金	30,073	28,570
その他	410,524	410,212
流動負債合計	704,752	716,517
固定負債		
退職給付引当金	614,747	600,560
役員退職慰労引当金	85,006	85,924
資産除去債務	198,368	198,408

その他	81,146	80,929
固定負債合計	<u>979,269</u>	<u>965,822</u>
負債合計	<u>1,684,021</u>	<u>1,682,340</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,727,560	2,727,560
資本剰余金	242,303	242,303
利益剰余金	479,815	428,003
自己株式	79,284	79,284
株主資本合計	<u>2,410,764</u>	<u>2,462,576</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	106,028	175,567
その他の包括利益累計額合計	<u>106,028</u>	<u>175,567</u>
純資産合計	<u>2,516,792</u>	<u>2,638,143</u>
負債純資産合計	<u>4,200,814</u>	<u>4,320,483</u>

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	1,061,336	1,129,390
売上原価	496,215	518,026
売上総利益	565,120	611,363
販売費及び一般管理費	595,818	595,254
営業利益又は営業損失()	30,697	16,109
営業外収益		
受取利息	472	346
受取配当金	27,207	28,262
受取手数料	2,881	3,161
雑収入	7,546	2,713
営業外収益合計	38,107	34,484
営業外費用		
支払利息	112	126
雑損失	231	480
営業外費用合計	344	606
経常利益	7,065	49,987
税金等調整前四半期純利益	7,065	49,987
法人税、住民税及び事業税	2,001	5,221
法人税等調整額	-	21
法人税等合計	2,001	5,200
少数株主損益調整前四半期純利益	5,064	44,787
四半期純利益	5,064	44,787

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	1,061,336	1,129,390
売上原価	494,874	518,436
売上総利益	566,462	610,953
販売費及び一般管理費	603,928	587,819
営業利益又は営業損失()	37,465	23,134
営業外収益		
受取利息	472	346
受取配当金	27,207	28,262
受取手数料	2,881	3,161
雑収入	7,546	2,713
営業外収益合計	38,107	34,484
営業外費用		
支払利息	112	126
雑損失	231	480
営業外費用合計	344	606
経常利益	297	57,012
税金等調整前四半期純利益	297	57,012
法人税、住民税及び事業税	2,001	5,221
法人税等調整額	-	21
法人税等合計	2,001	5,200

<u>少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()</u>	<u>1,704</u>	<u>51,812</u>
<u>四半期純利益又は四半期純損失()</u>	<u>1,704</u>	<u>51,812</u>

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,064	44,787
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29,814	69,538
その他の包括利益合計	29,814	69,538
四半期包括利益	24,750	114,325
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,750	114,325

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	1,704	51,812
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29,814	69,538
その他の包括利益合計	29,814	69,538
四半期包括利益	31,518	121,350
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,518	121,350

【注記事項】

(株主資本等関係)

(訂正前)

～前略～

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

2.株主資本の金額の著しい変動

平成23年5月24日開催の取締役会において、平成23年6月29日開催の第67期定時株主総会に資本準備金の額の減少及び剰余金の処分について、以下の内容について付議することを決議し、同株主総会にて承認可決されております。なお、本件は、「純資産の部」の勘定内の振替であり、当社グループの純資産合計に変動はありません。

(1)資本準備金の額の減少及び剰余金の処分の目的

繰越利益剰余金の欠損の填補を行うことを目的として、資本準備金の額の減少及び剰余金の処分を行うおととするものであります。

(2)資本準備金の額の減少の要領

減少する準備金の額

資本準備金 593,587千円

増加する剰余金の額

その他資本剰余金 593,587千円

(3)剰余金の処分の要領

減少する剰余金の額

その他資本剰余金 640,645千円

増加する剰余金の額

繰越利益剰余金 640,645千円

上記の結果、当第1四半期連結会計期間において資本剰余金が640,645千円減少し、利益剰余金が640,645千円増加しております。当第1四半期連結会計期間末においては資本剰余金が242,303千円、利益剰余金が130,954千円となっております。

～後略～

(訂正後)

～前略～

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

2.株主資本の金額の著しい変動

平成23年5月24日開催の取締役会において、平成23年6月29日開催の第67期定時株主総会に資本準備金の額の減少及び剰余金の処分について、以下の内容について付議することを決議し、同株主総会にて承認可決されております。なお、本件は、「純資産の部」の勘定内の振替であり、当社グループの純資産合計に変動はありません。

(1)資本準備金の額の減少及び剰余金の処分の目的

繰越利益剰余金の欠損の填補を行うことを目的として、資本準備金の額の減少及び剰余金の処分を行うおととするものであります。

(2)資本準備金の額の減少の要領

減少する準備金の額

資本準備金 593,587千円

増加する剰余金の額

その他資本剰余金 593,587千円

(3)剰余金の処分の要領

減少する剰余金の額

その他資本剰余金 640,645千円

増加する剰余金の額

繰越利益剰余金 640,645千円

上記の結果、当第1四半期連結会計期間において資本剰余金が640,645千円減少し、利益剰余金が640,645千円増加しております。当第1四半期連結会計期間末においては資本剰余金が242,303千円、利益剰余金が246,397千円となっております。

～後略～

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

(訂正前)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	549,434	345,862	157,854	1,053,151	8,185	1,061,336
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	425,292	425,292	85,481	510,773
計	549,434	345,862	583,147	1,478,443	93,666	1,572,110
セグメント利益又は損失()	8,974	30,565	7,062	46,602	13,816	32,785

~注略~

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	46,602
「その他」の区分の利益	13,816
セグメント間取引消去	1,427
棚卸資産の調整額	410
その他の調整額	250
四半期連結損益計算書の営業損失()	30,697

~後略~

(訂正後)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	549,434	345,862	157,854	1,053,151	8,185	1,061,336
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	425,292	425,292	85,481	510,773
計	549,434	345,862	583,147	1,478,443	93,666	1,572,110
セグメント利益又は損失()	11,689	33,745	5,721	51,156	11,601	39,554

~注略~

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	51,156
「その他」の区分の利益	11,601
セグメント間取引消去	1,427
棚卸資産の調整額	410
その他の調整額	250
四半期連結損益計算書の営業損失()	37,465

~後略~

(訂正前)

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	555,585	385,563	180,223	1,121,372	8,017	1,129,390
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	467,536	467,536	85,611	553,148
計	555,585	385,563	647,760	1,558,908	93,629	1,682,538
セグメント利益又は損失()	<u>1,817</u>	<u>18,095</u>	<u>23,782</u>	<u>7,505</u>	<u>10,655</u>	<u>18,161</u>

～注略～

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	7,505
「その他」の区分の利益	10,655
セグメント間取引消去	1,427
棚卸資産の調整額	91
その他の調整額	3,387
四半期連結損益計算書の営業利益	16,109

～後略～

(訂正後)

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	小売事業	卸売事業	受託縫製 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	555,585	385,563	180,223	1,121,372	8,017	1,129,390
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	467,536	467,536	85,611	553,148
計	555,585	385,563	647,760	1,558,908	93,629	1,682,538
セグメント利益又は損失()	<u>5,063</u>	<u>18,199</u>	<u>23,372</u>	<u>10,237</u>	<u>14,948</u>	<u>25,186</u>

～注略～

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	10,237
「その他」の区分の利益	14,948
セグメント間取引消去	1,427
棚卸資産の調整額	91
その他の調整額	3,387
四半期連結損益計算書の営業利益	23,134

～後略～

(1株当たり情報)

(訂正前)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	0円29銭	2円59銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	5,064	44,787
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	5,064	44,787
普通株式の期中平均株式数(千株)	17,266	17,265

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(訂正後)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期 純損失金額()	__0円10銭	3円00銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失()(千円)	__1,704	51,812
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失 ()(千円)	__1,704	51,812
普通株式の期中平均株式(千株)	17,266	17,265

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月13日

株式会社 銀座山形屋

取締役会

御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	松村浩司	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	平野雄二	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社銀座山形屋の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社銀座山形屋及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべて

の重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出事由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成24年8月8日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。